

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅱ 呼吸器疾患患者の看護		長井 安代		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	(20)	教室 看護実習室	後期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	呼吸器疾患患者の看護について学ぶ。				
到達目標	①呼吸器疾患患者に特徴的な症状に対する看護を理解できる。 ②呼吸器疾患患者の検査・治療処置における看護を理解する。 ③呼吸器機能障害のある患者のアセスメントを理解することができる。 ④気管内吸引・口鼻腔吸引の技術が習得できる。				
事前学習	呼吸器の解剖生理を復習しておく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	症状に対する看護 咳・痰・胸痛・呼吸困難 Co ₂ ナルコーシス
2	検査を受ける患者の看護 気管支鏡検査・肺組織の生検 胸腔ドレナージ 気胸 胸水
3	治療・処置を受ける患者の看護 吸入療法 酸素療法 酸素吸入器具 の選択、酸素ボンベ使用方法、残量計算
4	疾患を持つ患者の看護 肺炎 肺結核
5	疾患を持つ患者の看護 気管支喘息 慢性閉塞性疾患 拘束性換気障害、 肺癌
6	人工呼吸器装着患者の看護 侵襲的陽圧換気、非侵襲的陽圧換気 気管切開を受ける患者の看護
7	気管内吸引・口鼻腔吸引 肺理学療法 体位ドレナージ・スクイーピング 催咳法・ハフフィング 呼吸訓練
8	演習 気管内吸引 口鼻腔吸引
9	
10	まとめ・終講試験
履修上の要件	解剖生理学Ⅱ呼吸器を履修していることが望ましい。
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ成人看護学 呼吸器 看護技術プラクティス
成績評価の方法	筆記試験
備考	循環器疾患患者の看護と併せて1単位とする。